

酒パックリサイクル促進協議会便り

Vol.27 令和2年8月15日 発行

発行:酒パックリサイクル促進協議会

【令和元年度事業報告概要】
令和といふ新しい元号で幕を開けた今期は、中国の輸入規制による国内の古紙余り、産廃処理費の高騰などの影響が飲料

ホテルに於いて、第13回定期総会を開催いたしました。

今回の総会は、全国的な新型コロナウイルス蔓延の影響下、各員企業も在宅勤務や県を跨いだ移動の制約の中での実施となりました。会場では感染防止のため全員がマスク着用の上、一定の距離を置いた配置ということもあり、12社17名の出席となりました。会場では感染防

止のため、会員企業もマスク着用の上、一定の距離を置いた配置ということもあり、12社17名の出席となりました。会場では感染防

果と言える。

下記の通りとなりました。

【令和元年度事業報告概要】

令和といふ新しい元号で幕を開けた今期は、中国の輸入規制

による国内の古紙余り、産廃処理費の高騰などの影響が飲料

用紙容器リサイクルの様々な

ところで影を落すこととなり、ま

た期末においては全国的な新型

コロナウイルス蔓延という困難な

中で進める令和元年度事業とな

った。ただそのような中でも、酒パ

ックリサイクル促進協議会に加

えて2回の回収紙パック組成分

活動参加が随所に見られた。

印刷工業会からの呼びかけに応

明する酒造メーカーの積極的な

活動参加が随所に見られた。

印刷工業会から呼びかけに応

じて、レギュラー的に製作されて

いる、天バットが、最盛期の41品目

から今年度は12品目と大幅に

減少しており、今後いかに再生

品活用を拡大できるかが循環シ

ステム維持の課題となる。

前述した新型コロナウイルス感

染拡大の影

12年で、累積1,494トンがあり

1トン、伏見地区42トンであり統一

的な回収システムがスタートして

いる。また、酒パックの回収量は、

日本酒造組合中央会

（日本酒造組合中央会）

（宝ホールディングス）

（小山本家酒造）

（井上哲也）

（伊藤順）

（城村孝幸）

（月桂冠）

（小島泰弘）

（岡本直久）

（高橋一仁）

（杉本道代）

（水谷英樹）

（古田晴子）

（橋本道代）

（高橋英樹）

（井上哲也）

（伊藤順）

（井上哲也）

（高橋英樹）

（高橋英樹）

（高橋英樹）

（高橋英樹）

（高橋英樹）

（高橋英樹）



船戸監査役

灘地区	47
今年度工場損紙回収量は、	
地区での	
令和元年度事業報告概要	
開けた今期は、中国の輸入規制	
による国内の古紙余り、産廃処理費の高騰などの影響が飲料	

用紙容器リサイクルの様々な

ところで影を落すこととなり、ま

た期末においては全国的な新型

コロナウイルス蔓延という困難な

中で進める令和元年度事業とな

った。ただそのような中でも、酒パ

ックリサイクル促進協議会に加

えて2回の回収紙パック組成分

活動参加が随所に見られた。

印刷工業会からの呼びかけに応

じて、レギュラー的に製作されて

いた天バットが、最盛期の41品目

から今年度は12品目と大幅に

減少しており、今後いかに再生

品活用を拡大できるかが循環シ

ステム維持の課題となる。

前述した新型コロナウイルス感

染拡大の影

12年で、累積1,494トンがあり

1トン、伏見地区42トンであり統一

的な回収システムがスタートして

いる。また、酒パックの回収量は、

日本酒造組合中央会

（日本酒造組合中央会）

（宝ホールディングス）

（小山本家酒造）

（井上哲也）

（伊藤順）

（城村孝幸）

（月桂冠）

（小島泰弘）

（岡本直久）

（高橋一仁）

（杉本道代）

</div

